

# KEYWARE SOLUTIONS

キーウェアソリューションズ株式会社  
東証第二部 3799

2013年3月期 第1四半期

# 決算説明

IT can create it.

※本資料に記載された意見や予測につきましては、資料作成時点での弊社の判断に基づき作成したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。  
また、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績や結果とは異なる場合があります。  
※掲載されている会社名と製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。



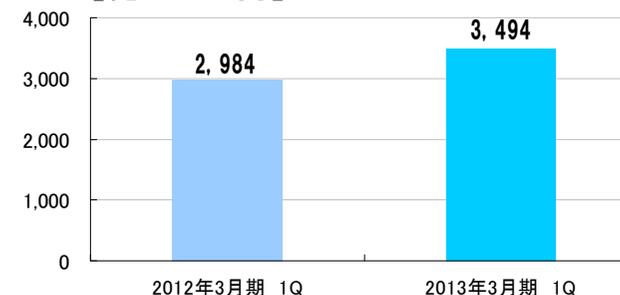
**前期末に実施した抜本的な事業構造改革をはじめとするコスト低減、販管費の抑制と受注拡大への取り組みが功を奏し、前年同期比、受注高・売上高の大幅な増加に加え、収益面も大きく改善。**

前年同期比、売上高:約17%増加に加え、収益面も改善

連結損益計算書概要 (単位:百万円/%)

項目	決算期		前年同期比
	2012年3月期1Q	2013年3月期 1Q	
	実績	実績	
売上高	2,984	3,494	17.1%
売上原価	2,524	2,961	17.3%
売上総利益	459	533	16.0%
販管費	707	611	-13.6%
営業利益	-247	-78	-
経常利益	-258	-94	-
当期純利益	-265	-93	-

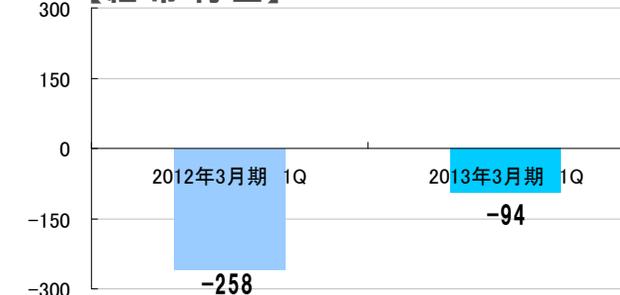
【売上高】



【営業利益】



【経常利益】

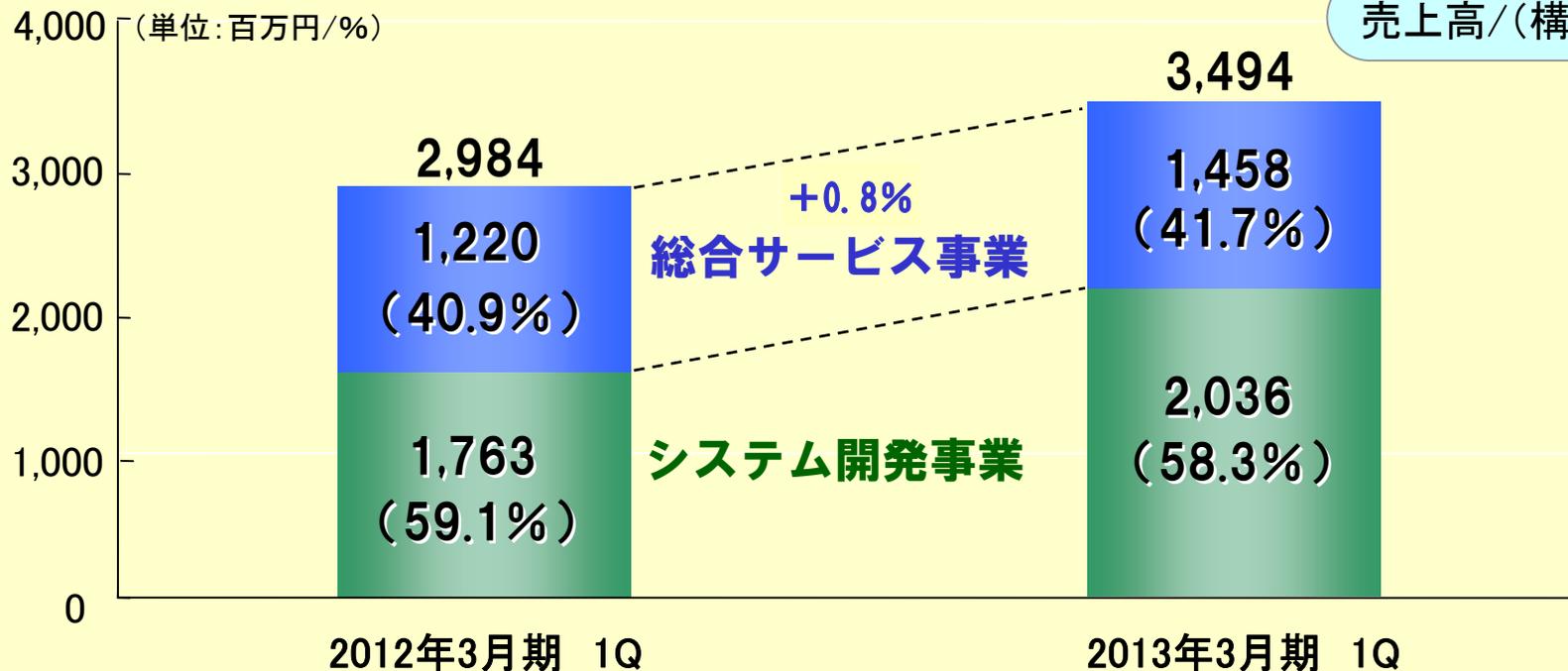


# 事業区分別(セグメント別)業績ハイライト

売上総利益率



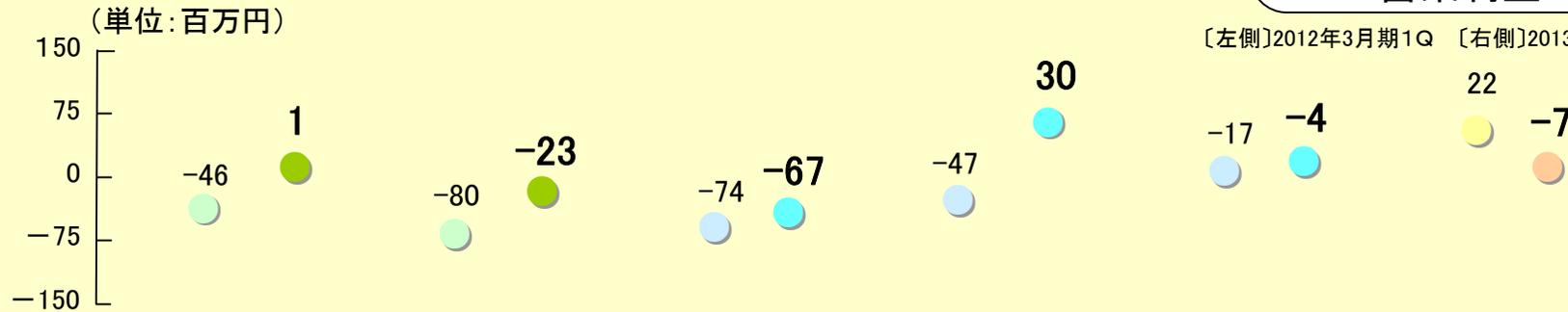
売上高/(構成比)



# 事業区分別(セグメント別)業績ハイライト

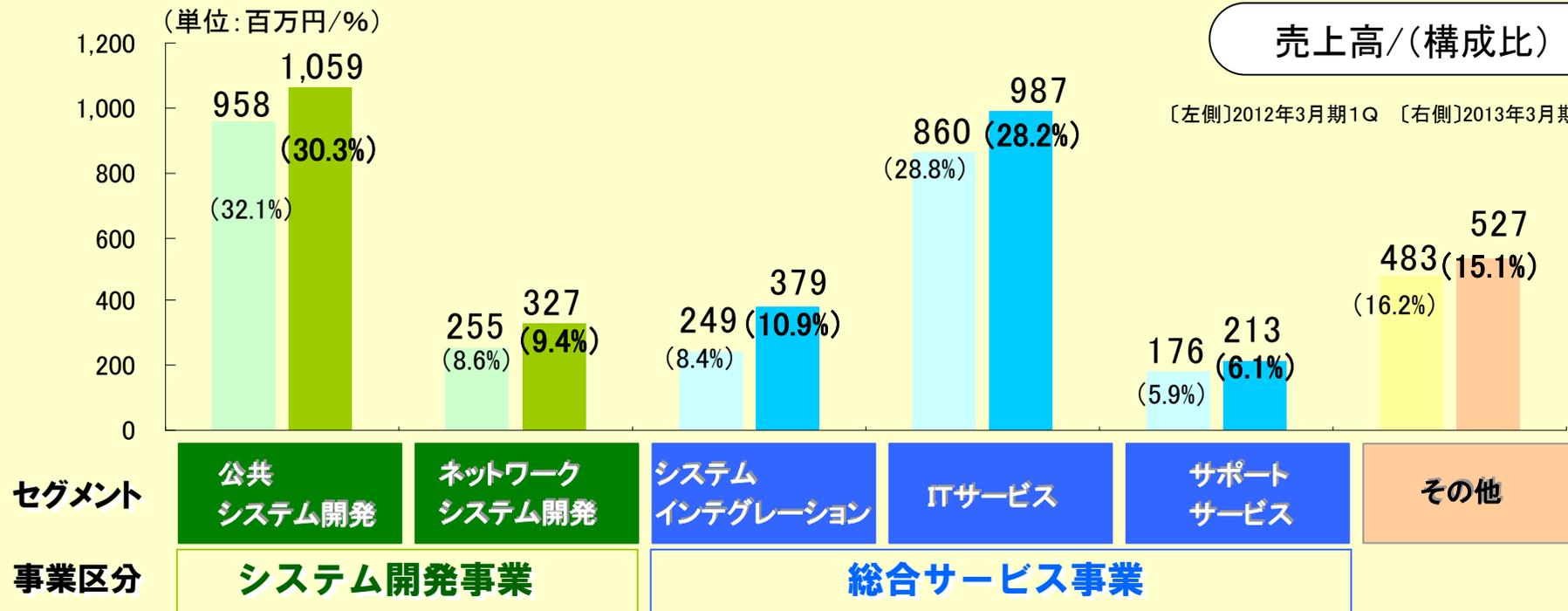
## 営業利益

[左側]2012年3月期1Q [右側]2013年3月期1Q



## 売上高/(構成比)

[左側]2012年3月期1Q [右側]2013年3月期1Q



\* 上記の業績数値は、セグメント間で発生した取引を除いた売上高を記載。

\* 「その他」: 報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、拠点として地域性を持ち独立した経営単位のセグメント、および機器販売等

## 連結貸借対照表概要 (単位:百万円)

項目	決算期	2012年3月期 (2012年3月末)	2013年3月期 (2012年6月末)
資産合計		9,149	8,836
流動資産		5,028	4,763
固定資産		4,120	4,072
負債合計		3,805	3,587
流動負債		3,392	3,336
固定負債		412	251
純資産合計		5,343	5,248
資本金		1,737	1,737
資本剰余金		507	507
利益剰余金		3,089	2,995
その他		10	8
負債・純資産合計		9,149	8,836

## 項目別コメント

流動資産残高

**主な増減要因**

**:受取手形及び売掛金の減少、仕掛金の増加**

固定資産残高

**主な減少要因**

**:投資有価証券の減少**

流動負債残高

**主な増減要因**

**:買掛金の減少、短期借入金の増加**

固定負債残高

**主な減少要因**

**:長期借入金の返済による減少**

純資産残高

**主な減少要因**

**:四半期純損失の計上による利益剰余金の減少**

## 事業環境認識、事業方針および進捗状況

## 国内・海外の経済環境

- 【外需】 欧州の債務問題および不安定な米国景気、新興国の景気減速を背景に弱含み
- 【内需】 回復基調にあるものの、欧州各国の財政状態の懸念、中国をはじめとした新興国の景気減速等を背景に、主要企業の設備投資は抑制傾向

## 事業環境

厳しい経済環境のもと、顧客企業のIT投資に対する抑制傾向が続く一方、クラウドサービスの利用拡大、スマートフォンの普及などが進み、それらのサービス拡充が加速

- 急激な景気回復は見込まれず、今後も厳しい事業環境が継続
- 当社も含め、情報サービス産業における受託ソフトウェアを主軸とする企業は、情報システムの利活用における「所有から利用へ」の流れの顕在化など、かつてない大きな構造的な環境変化に直面し、こうした変化への対応が不可避とされる

## 競争力強化、成長軌道への回帰を早期に実現

### 総合サービス事業の拡大

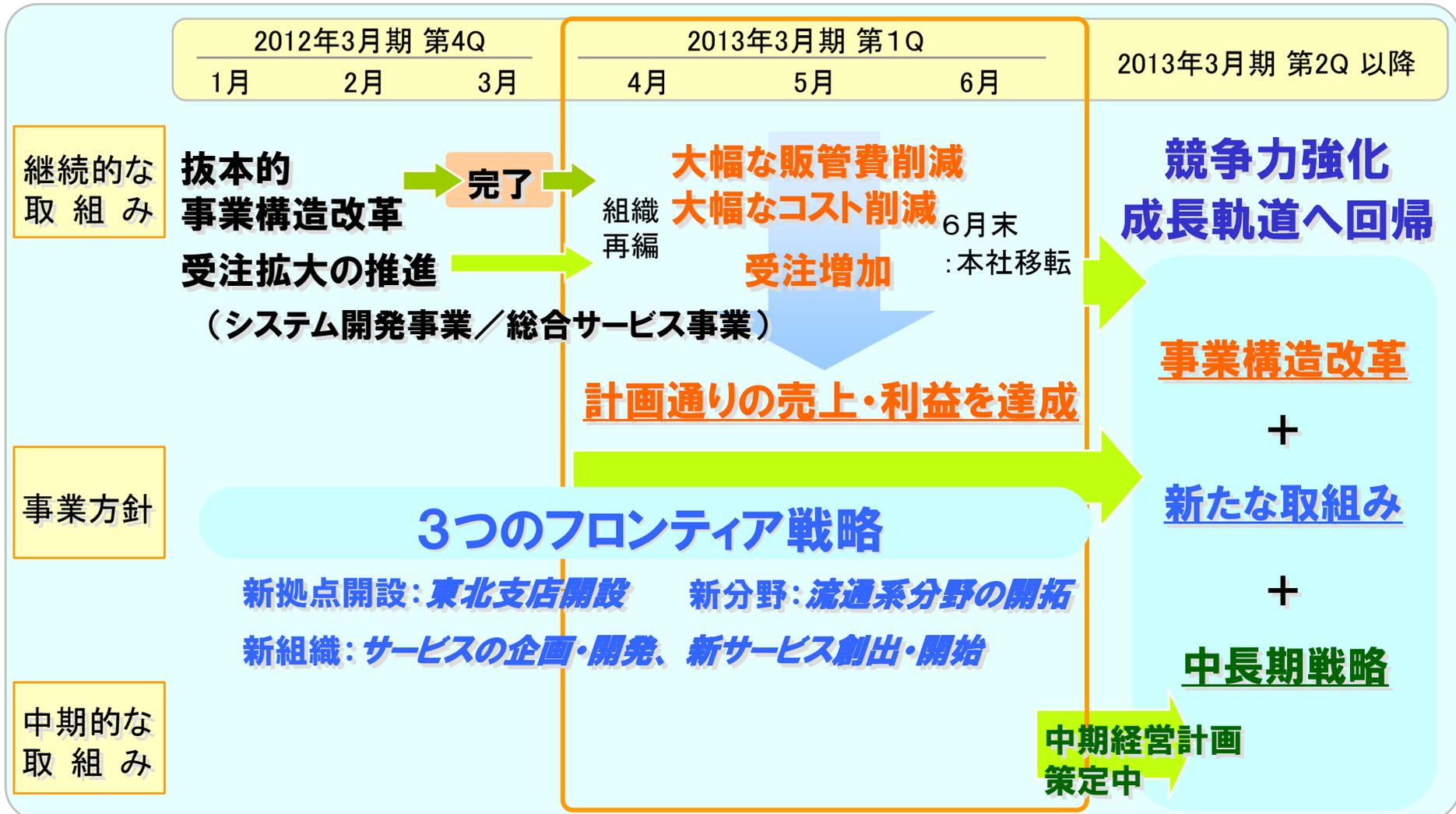


### 3つのフロンティア戦略

①地理的・空間的なフロンティア    ②事業上のフロンティア    ③考え方や発想のフロンティア

- 地域の特徴を鑑みた事業領域の拡大
- 蓄積された技術をもとにした新規領域への進出
- 新たな発想による新規サービス、ビジネスモデルの創出

厳しい事業環境下において確実な利益を上げられる体質づくりが完了



1

## 地理的・空間的な フロンティア

### 新拠点開設：東北支店開設

- ・産学連携による新規事業の創出を検討
- ・医療系分野の拡大に向けた営業展開を推進

2

## 事業上の フロンティア

### 新分野：流通・サービス業分野の開拓

- ・NECとの連携による新規顧客開拓を推進

### 新サービス創出・開始

- ・新たな事業領域であるコンシューマー向けサービス「LifeRoute」のサービス開始



3

## 考え方・発想の フロンティア

### 新組織：サービスの企画・開発

- ・新たな医療系サービスや国内外企業と連携したソリューションを企画、開発中

● NECグループ、NTTグループにおける新規取引の企業および事業部門の拡大

● 首都圏の某電鉄会社へ交通広告システムパッケージの導入決定

● 官公庁入札案件の落札(警察庁、経産省所管の独立行政法人)

● 首都圏以外のインフラ構築案件の受注拡大に向けた地方子会社との連携強化に着手

● ショールーム

「Solution room Key×SPACE(キースペース)」開設

→ お客様のKEY(鍵)となる  
当社ソリューションのご紹介スペース



本社(八幡山)1F

## 2013年3月期 連結業績予想 / 株主還元方針

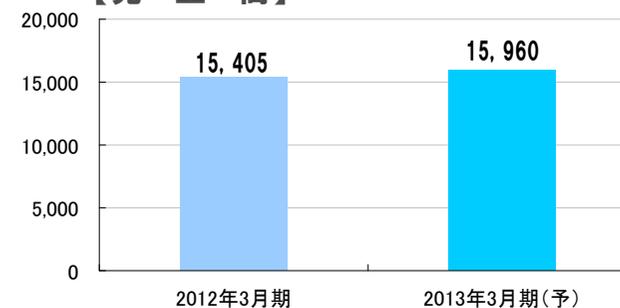
## 第2Q以降も通期増収、黒字化を目指し、事業を推進

### 通期業績予想

(単位:百万円/%)

項目	決算期	2013年3月期	
	2012年3月期	実績	前年同期比
売上高	15,405	15,960	3.6%
売上原価	13,071	12,755	-2.4%
売上総利益	2,334	3,205	37.3%
販管費	2,863	2,685	-6.2%
営業利益	-528	520	-
経常利益	-579	390	-
当期純利益	-1,154	338	-

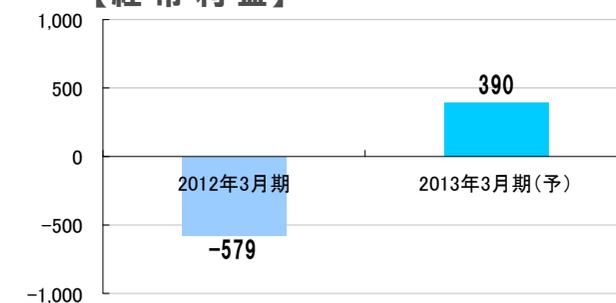
【売上高】



【営業利益】



【経常利益】



「最終利益に応じて配当する業績連動型配当」を実施

基本方針

2013年3月期  
1株当たりの配当額(予想)

年間配当金額(1株)の推移

最終利益に応じて配当する業績連動型配当

2012年3月期までの連結ベースでの株主資本利益率および株主資本配当率を勘案した配当政策から、株主の皆様へ期間業績に応じた適正な利益還元を目指し、2013年3月期より、最終利益に応じて配当する業績連動型配当を実施いたします。

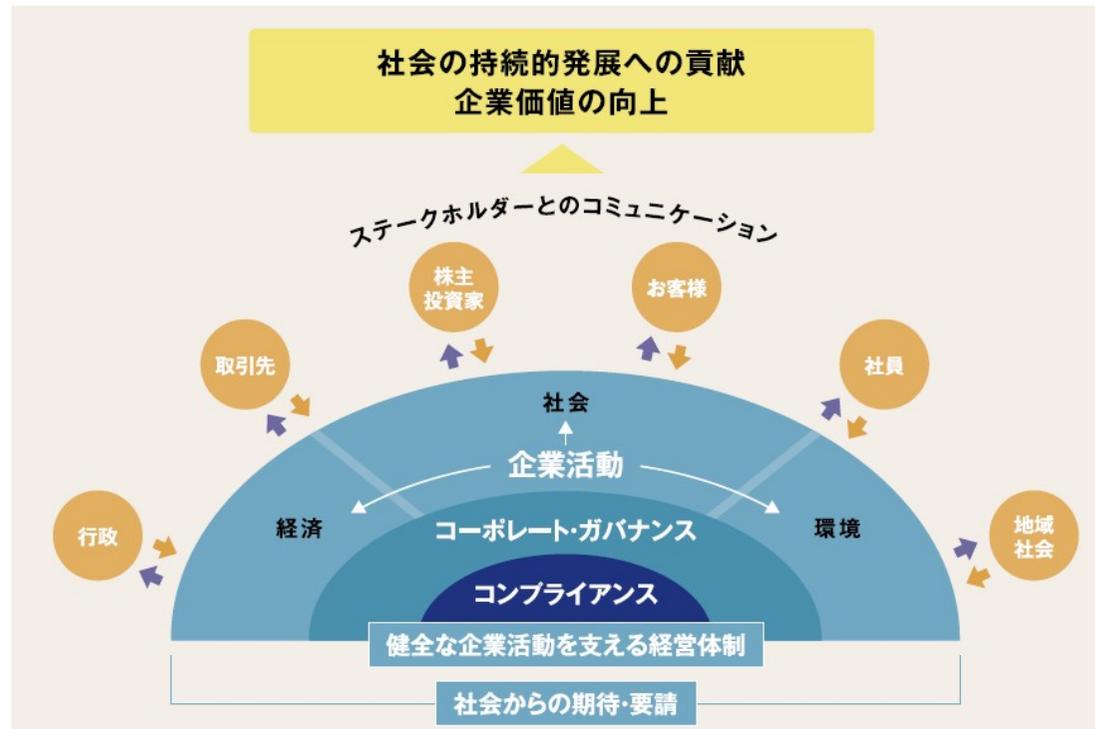
年間配当金 期末配当金6円

\* 配当金を年間の最終利益と連動させる観点から中間配当は実施いたしません。



## 社会や顧客に信頼されるとともに成長を期待される企業へ

- 上場企業として社会的責任を十分に認識し、積極的にコンプライアンス(法令順守)を推進いたします。
- 社会や顧客に対し、最適な商品やサービスを提供し、そのために常に先端技術の探求と普及に努めてまいります。



# 御清聴いただきありがとうございます



お問い合わせ

E-Mail : [ir@keyware.co.jp](mailto:ir@keyware.co.jp)

TEL : 03-3306-3799

※掲載されている会社名と製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本資料に記載された意見や予測につきましては、資料作成時点での弊社の判断に基づき作成したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績や結果とは異なる場合があります。